

令和2年度森林環境譲与税の使途

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績										税導入の効果								
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち令和元年度からの繰越（千円）	(C)うち他の財源（千円）		森林整備関係																		
							森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積（ha）	間伐等実施面積			路網整備			その他	森林経営管理制度の推進業務のための雇用	公共施設等の木材利用									
								間伐（ha）	除伐（ha）	その他（作業種、実績値を記載）	林道・林業専用道の開設延長（m）	森林作業道の開設延長（m）	その他（作業種、実績値を記載）			施設数		その他							
② 意向調査	森の豊かさ実現事業	7,401	7,401			森林の現況調査や森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査業務を、民間事業者へ委託。	54																		
③ 私有林整備	森の豊かさ実現事業	20,194	15,161	5,033		北九州市の地域課題である放置竹林対策として、放置竹林拡大防止のための人工林・広葉樹林への侵入竹の伐採、災害に強い山づくりのための放置竹林の伐採及び他樹種への転換、イノシシ侵入防止柵の設置業務を、民間事業者へ委託。																			
④ 公有林整備（財産区有林含む）	森の豊かさ実現事業	9,475	3,283	6,157	36	北九州市の地域課題である放置竹林対策として、市営林において放置竹林拡大防止のための人工林・広葉樹林への侵入竹の伐採業務を、民間事業者へ委託。																			【ワンフリーズ】 税活用により、 ・54haの私有林の意向調査を実施することができ、既存森林経営計画の見直しにつなげることができた。 ・約11haの放置竹林の整備を行い、市の重要施策である放置竹林対策の推進を図ることができた。
⑥ 林道・林専道の整備等	林業生産を支える林道メンテナンス事業	53,000	20,728	19,810	12,461	既設林道の排水機能の回復や草刈等を実施し、適切な林道の維持を図り、災害に強く長期間に利用可能な林道の整備。																			【詳細】 北九州市は、本税を活用し、令和元年度から森林所有者の森林経営管理に関する意向調査等を行っている。 令和2年度は、54haの森林所有者へ意向調査を行い、その調査結果を基に既存の森林経営計画の見直しにつなげることができた。
⑩ 専門員の雇用	森の豊かさ実現事業	2,502	2,502			林業振興事業の円滑な実施のための林業専門員を雇用。																			また北九州市は、地域課題として放置竹林を上げており、本税を活用して放置竹林対策の推進を図っている。 結果、約11haの放置竹林の広葉樹への転換等整備を行い、災害に強い山づくりや放置竹林の拡大防止を図ることができた。
⑬ 木造公共建築物の整備等	・大連友好記念館リニューアル事業 ・公共施設における木造製品の整備事業 ・放課後児童クラブカバン棚整備事業 ・児童館本棚整備事業 ・国産木材遊具整備事業	43,292	40,263		3,030	市の観光振興や、市民の交流の場である大連友好記念館と子育て支援施設、また放課後児童クラブや青少年施設へ、国産材木材を利用した施設を導入。																			さらに、観光施設や子育て支援施設へ国産木材を利用した施設を導入したことで、観光振興や市民の交流の場へのさらなる憩いと遊びの空間の提供が可能となった。放課後児童クラブや青少年施設への木製遊具導入では、国産材とのふれあいを児童に提供し、国産木材の利用啓発にもつながった。 その他にも既存林道の維持修繕や林業専門員の雇用など、様々な林業事業に本税を活用し、北九州市の林業における課題の解決や林業振興を図ることができた。
⑮ 森林・林業・木材普及活動等	森の豊かさ実現事業	2,704	2,704			市民参加による放置竹林対策として、竹林の整備からイベント等での竹材活用までの一貫した対策の実施及び放置竹林対策の周知・啓発も合わせた取り組みの検証を、民間事業者へ委託。 その他、森林整備・林業振興に係る事務事業に使用。																			放置竹林0.45haを市民50人で整備し、約20トンの竹材を活用。